

第八卷 索引

ア 行(キエヲを含む)

アルゴルに關する疑問	二〇
アウゼルス	二一
アウゼルス教授の訃	二一
アウゼルス傳	三六
緯度變化	三六
今次の大戦と緯度變化觀測事業	三七
一九一四年に於ける緯度變化	三七
昨年に於ける緯度變化	三七
光行差常數と緯度變化	三七
緯度觀測所	三八
水澤緯度觀測所紀念會	三八
宮殿下と水澤緯度觀測所	七二
一天文學者のエルケス天文	八三
臺訪問談	八三
一星雲の視線速度	八六
一月の月食	一〇九、一三四
ウインネツク彗星の再來	四九
ウイルソン山天文臺の百吋	一〇八
反射望遠鏡臺につき	一〇八
英國に於ける隕石	二一
英國皇立天文學會と婦人入會	三五
エンケ彗星	五九
オリオン	五九
オリオン座α星の光度變化	三四
オリオン星雲	三四
オリオン座星のスペクトル及軌道	一三四
小笠原通信	六二
小笠原母島に於ける金環食觀測	七三
大なる固有運動を有する一微弱星	一四六

海王星	三四
海王星の直徑	一〇六
海王星の自轉時間	一〇六
蟹座β星	一〇八
蟹座α星の伴星消失す	一〇八
蟹座α星の伴星消失せず	一四六
駁者座β星の觀測	一二一
球狀星雲の回轉運動	一四五
寛政前後に於ける本邦曆家の實狀	四一、五三、六六
懷中時計の進みの變化の原	四一、五三、六六
因	八六
クリチンゲル彗星	二〇
顯微鏡と戰爭	三五
藝術と天文學	一一六、一三〇
ケフェウス	一〇
ケフェウス種變光性の起因	一〇
ケフェウス座星雲	一三四
ケフェウス座星雲	一三四
光行差常數と緯度變化	八四
光輝強き新彗星	八六
恒星	八六
恒星時早見	一
恒星三分流説に對するターナー教授の解釋	三四
今次の大戦と緯度變化觀測事業	三四
昨年(キエヲを含む)に於ける緯度變化時刻	八四
時刻の稱へ方につきて	一〇一
無線電信による時刻報知の成績	一〇三
シリヤス	一二一

新星	四九
新星の起因としての衝突論	四九
漸場座新星のスペクトル	一四五
新城博士の宇宙進化に就いて	八九
新刊紹介	一三三
視線速度	一三三
一星雲の視線速度	八六
視線速度と光度及びスペクトル	一二一
六個の星の視線速度	一四四
星の視線速度と距離	一四五
支那の星圖	三九
消失せる星	二一
小惑星ニツボニヤの發見者	二一
の戦死	二一
十二世紀頃の宇宙圖の一つ	四八
十八世紀に於ける觀測的天文學	九五
彗星	二、四三
一九一五年の彗星	二〇
クリチンゲル彗星	二〇
メリッシン彗星	四八、五九、九七
メリッシン彗星分裂す	四八
ウインネツク彗星の再來	四九
テンベル第二彗星	四九
エンケ彗星	五九
彗星の起原	八五
一九一五年の彗星	九七
一九一五年以來肉眼彗星の記録	九七
ハリ彗星と水瓶座流星群	九七
デラザン彗星	一〇七
彗星の軌道に就て	一〇七
新彗星(一九一五年の彗星)	一三三
戰爭と天文	一三三
戰爭と天文學	五〇
ベルギー天文臺と戦亂	五〇
佛國リル天文臺と戦亂	七三
一八五〇年以來肉眼的彗星の記録	九七

一九一三年に於ける太陽黒點及磁氣の活動	一九
一九一四年に於ける緯度變化	七二
一九一五年	八
一九一五年の彗星	九七
一九一五年の彗星	一三三
一九一五年の彗星	一三三
一九一五年に於けるベルセウス座流星の觀測	一四五
星學科學生	六二
星雲	六二
一星雲の視線速度	八六
オイオン星雲	一三四
ケフェウス座星雲	一三四
六ヶの星雲の視線速度	一四四
球狀星雲の視線速度	一四四
變光星雲 M.C.G. 5-17	一四七
星團 M. 11 に於ける星の固有運動	一三四
攝動指示機の考案	一四六
タ 行	五
太平記「稻村ヶ崎長干のこ」との話	五
大正	五
大正三年度學會報告	二一
大正三年東京正午報の成績	三七
大正五年度各種曆の對照表	一一〇
大正五年中惑星出入一覽	一一一
大正四年東京正午報の成績	一四六
太陽	九
太陽黒點の流星説について	九
太陽の入口	一〇
太陽の輻射熱の測定	三四
太陽コロナの寫眞	六二
去る六月中に現はれたる太陽の大黒點群	一〇三

太陽常數に就きて	一三三
太陽黒點と白紋の週期	一四三
太陽豫表	
一一、二三、三九、五一、六三、七五、八七	
九、一一、一二、一三、一三五、一四七	
大氣の溫度の兩極端	三四
地球上に於ける溫度の消長	
に就いて	二〇
地理と策戰	三五
青島所見	二五
チェンバース氏逝く	七四
月	
月の平均運動の長年變化	七二
月の觀測位置と表との比較	七二
月の豫表	
一一、二三、三九、五一、六三、七五、八七	
九九、一〇一、一〇三、一〇五、一〇七	
ツェペリン下の巴里	九六
天文的寫生	一〇八
天文學	
十八世紀に於ける觀測的天文學	二
戰爭と天文學	一五〇
飛行機と天文學	一〇八
天文學會記事	
第十四回定會記事	二一
第十五回定會記事	一〇九
天文學者	
ブラウン教授と新太陰表	九
フォーラー教授の榮譽	一〇
アウゼルス教授の訃	二一
ハギンス夫人逝く	三五
アウゼルス傳	三六
寛政前後に於ける本邦曆家の實狀	
四一、五三、六六	
チェンバース氏逝く	七四
天文學者のエルケス天文臺訪問談	八三
テオドル・アルブレヒト逝く	一〇九
ハギンス夫人の傳	一一九

天文臺	
ベルギー天文臺と戰亂	六〇
佛國リル天文臺と戰亂	七三
一天文學者のエルケス天文臺訪問談	八三
ウィルソン天文臺の百吋反射望遠鏡について	一〇八
天圖	
一一、二四、四〇、五二、六四、七六、八八、一〇〇、一一二、一二四、一三六、一四八	
天狼星の伴星のスペクトル	一三四
天王星	
天王星の衛星の觀測	五九
天王星	七二
デラワン彗星	二〇、一〇七
テンペル第二彗星	四九
テオドル・アルブレヒト逝く	一〇九
土星及髮座星雲の寫眞	六五
解けぬ謎	五五、六九、八一、九一
蜥蜴座	
蜥蜴座十二番星の軌道	一四四
蜥蜴座新星のスペクトル	一四五
ナ行	
日食	
本年八月十一日の日食と其詳	二九
八月十一日の日食	五〇
日食の觀測	六二
小笠原島に於ける金環食の觀測	七三
日食の素人寫眞	八六
日本の經度	一三
長崎金刀比羅山金星經過觀測紀念碑	一四一
ハ行	
ハギンス夫人	
ハギンス夫人逝く	三五
ハギンス夫人の傳	一一九

ハリ	
ハリ流星群の觀測	六〇
ハリ彗星と水瓶座流星群	一〇七
白鳥座 α 、琴星 α 、 γ 座の變光	
八月十一日の日食	一四四
本年八月十一日の日食と其詳	二九
八月十一日の日食	五〇
巴里科學院賞	一四五
佛國リル天文臺と戰亂	七三
フォーラー教授の榮譽	一〇
ブラウン教授と新太陰表	九
變光星	
變光星マラの異常極大	四九
變光星ケフェウス座 δ 星に就いて	一〇六
變光星北冠座 β 星	一〇八
變光星ベルセウス座 γ 星	一四四
變光星 4.915 Orionis	一四四
變光星 RU Cassiopeiae	一四四
變光星 NG.C. 6727	一四七
變視線速度星の軌道	八六
ペルギー天文臺と戰亂	六〇
蛇遺座七〇番星と白鳥座六番の視差	一三四
星の數	七
星の閃めき	一一一
星の視線速度と距離	一四五
星の掩蔽豫告	
一一、二三、三九、五一、六三、七五、八七、九九、一一一、一二三、一三五、一四七	
本年八月十一日の日食と其詳	二九
望遠鏡	
望遠鏡盜まる	九九
ウィルソン天文臺の百吋反射望遠鏡について	一〇八

北極星の子午線經過と最大離隔表	一二三
マ行	
宮殿下と水澤觀測所	七二
無線電信による時刻報知の成績	一〇三
メリッシュ彗星	
メリッシュ彗星	一八、四八、五九
メリッシュ彗星分裂す	四八
木星の第九衛星の要素	五九
ラ行	
流星	
ハリ流星群の觀測	六〇
ハリ彗星と水瓶座流星群	一〇七
一九一五年に於けるベルセウス座流星の觀測	一四五
流星群豫告	
一一、二三、三九、五一、六三、七五、八七、九九、一一一、一二三、一三五、一四七	
曆	
大正五年各種曆の對照表	一一〇
寛政前後に於ける本邦曆家の實狀	四一、五三、六六
六個の星雲の視線速度	一四四
ワ行	
惑星	
小惑星ニッポニヤ發見者の戰死	四八
大正五年中惑星出入一覽	一一一
惑星だより	
一一、二四、四〇、五二、六四、七六、八八、一〇〇、一一二、一二四、一三六、一四八	
華府より	四七、五八、八二、九四